

あの頃の三田

石関力太郎

私が昭和三十八年三田高に着任した頃、街の様子は今とは全く違うものであった。現在国際ビルのあるあたり、当時、登記所があり、済生会病院の目だたない建物があった。当時三田通りには都電が走っていたように記憶する。その電車通りから四階建の三田警察署があり、日夜活動していた校門を入るとまず公孫樹の大木が目につく。その他泰山木、沈丁花、あじさい等の植え込みがあり季節のうつろいを教えてくれたものである。

少し坂手をおりるようにして校庭に出る。右手には古い大きな体育館があり、突当りの校舎には一だん高い所に時計台があり、その真下が学校の正面玄関となっていた。今でも西側一帯に樹木の密生している小高い丘があるが、これが通称オセシチ山と称し、三田の卒業生には大変なつかしい処になっている。かつて

は五月の休日一日使って球技会を開いたものだ。その折、色とりどりのつつじが咲いてとくに印象つけてくれたものです。本校はもともと女子教育で発足したが、戦後、男女共学の波が押しよせ昭和二十五年から男子の入学を認めるようになった。男女組、女子のみの組があり十数年を経過したが、昭和三十八年から男女同数の組織となった。本格的共学時代となる。家庭の事情から本校に入学する者多く学力の面でも全日制に劣らない者も多数いて、関係者を喜ばしたものである。

そっくりさん

杉山邦衛

三田高校とご縁が始まったのは昭和50年から。青葉会の幹事役は60年頃からと思います。二十年近くの間何かの思い出をと考えてみましたら、標題のようなことになりました。まだ誰にも語ったことのない、忘れていたような話です。

昭和50年は旧校舎最後の年で、51年か52年の頃の話です。新校舎に移ったことでしょうか。給食は大よそ学年別に座席につきました。

ある生徒突然いわく、「イヤだあ、杉山先生、わたしの父さんにそっくり」

そのような発言を二、三度くり返したのに、私もただ黙って苦笑していただけ。なる程小生その頃50歳位ですし、郷里のお父様の年輩ではあったでしょうが。

多分、当時典型的な東北出身の看護婦さんではなかったかと思いますが、誰であったのか今は全く見当が付きません。小生をご存知の方は判りのように、こんな貧弱な体躯では農家の仕事などつとまるわけではないだろうにと思いましたが、でも農家といったって兼業農家だらうし、単色系の背広姿はまことに共通的なものがあるのです。う。あるいは、バツとせぬ表情でもどこか実直そう(?)なところが、郷里のお父さんを懐しく思わせたのでしょうか。

でも「イヤだあ」はないでしょう。

ご案内ありがとうございます。あきる野市秋川六一六 五

○岡部 清
御案内ありがとうございます。今年五月初め、左胸をいためまして遠方へは全然出かけないで居ります。それと階段を使うところも敬遠していただきます。

退職して二年目の秋、毎日農業高校の農場で嘱託員として土と戯れています。自然の厳しさと不思議さを体験していただきます。

○上條 毅
横浜市戸塚区平戸町一〇八七―二十三

六十一・二才はまだまだ若いのだと思いがながらも、老いを自覚する場面が多くなっている昨今です。嘱託員勤務二年目をなんとか頑張つてやっています。

○川上園子
横浜市磯子区洋光台五―四一三七―一〇三

当日結婚式のため欠席いたします。なつかしい卒業生の方の様子をともかきで知り、うれしく、自分も励まされていきます。

皆様お元気で。

○木下和子
世田谷区池尻三十一―五―四
御案内ありがとうございます。

○菊池 光
狭山市青柳六三―一六―一〇四
毎年この日を楽しみにしています。私の方はここ数年と同様、週二〜三回学校で授業しています。休みの日の中、天候によりサイクリングを楽しんでいます。

○杉村親一
目黒区柿の木坂二―四―十四
ご無沙汰お赦し下さい。小生今春、蒲田保専を退職、目下自分の時間を楽しんでいます。インシュリンで糖尿病をこま

昭和五十年代の思い出

中村十成

三田校創立七十周年記念の資料として青葉会役員に名を連ねています関係上、その在任の当時は(四十六年、五十九年)参画して居りましたが、途中体調を壊し、その間杉村校長先生の夕礼における講話の編集にとりかかり、青葉会の出版物として発行させていただきました。それが「定時制生徒との一年」のB版百頁たらずの冊子で出版さ

せていただきました。その年の卒業生と皆さんの意向により希望者に配布しましたところ、新卒者の武田君(秋田医大卒業)、整形外科士として活躍中)、また上島君(東海大経済卒。安田生命保険に就職活躍中)それぞれ在校中のことを思い、勇気づけられます云々の便を下さる生徒さんも居ります。この年代の生徒は、金の卵子」と称し定時制の

応募人員に満たなければ、定数割れで先生までも減とされる年でしたが三田は皆さんのご協力によって、青葉会のご努力によって今日を得て居りますこと、感謝に堪えません。このような苦難を得て共に生活をした先生がたのご健康を祈念して止みません。

○会田美奈子
鎌倉市稲村ガ崎五―三十九―十二

平成十一年は、七十周年…。その中頃、今から約三十年前に、四年間、ご縁がありました。その頃の生徒の皆さんは成人。私も仕事は終了。孫の相手、ユネスコのボランティア、日本画、碁etc、元気に過しています。三田高の青葉会の一層のご発展を祈ります。

○川上園子
横浜市磯子区洋光台五―四一三七―一〇三

当日結婚式のため欠席いたします。なつかしい卒業生の方の様子をともかきで知り、うれしく、自分も励まされていきます。

皆様お元気で。

○杉村親一
目黒区柿の木坂二―四―十四
ご無沙汰お赦し下さい。小生今春、蒲田保専を退職、目下自分の時間を楽しんでいます。インシュリンで糖尿病をこま



多分、当時典型的な東北出身の看護婦さんではなかったかと思いますが、誰であったのか今は全く見当が付きません。小生をご存知の方は判りのように、こんな貧弱な体躯では農家の仕事などつとまるわけではないだろうにと思いましたが、でも農家といったって兼業農家だらうし、単色系の背広姿はまことに共通的なものがあるのです。う。あるいは、バツとせぬ表情でもどこか実直そう(?)なところが、郷里のお父さんを懐しく思わせたのでしょうか。

でも「イヤだあ」はないでしょう。

ご案内ありがとうございます。あきる野市秋川六一六 五

○岡部 清
御案内ありがとうございます。今年五月初め、左胸をいためまして遠方へは全然出かけないで居ります。それと階段を使うところも敬遠していただきます。

退職して二年目の秋、毎日農業高校の農場で嘱託員として土と戯れています。自然の厳しさと不思議さを体験していただきます。

○上條 毅
横浜市戸塚区平戸町一〇八七―二十三

六十一・二才はまだまだ若いのだと思いがながらも、老いを自覚する場面が多くなっている昨今です。嘱託員勤務二年目をなんとか頑張つてやっています。

○川上園子
横浜市磯子区洋光台五―四一三七―一〇三

当日結婚式のため欠席いたします。なつかしい卒業生の方の様子をともかきで知り、うれしく、自分も励まされていきます。

皆様お元気で。

○木下和子
世田谷区池尻三十一―五―四
御案内ありがとうございます。

○菊池 光
狭山市青柳六三―一六―一〇四
毎年この日を楽しみにしています。私の方はここ数年と同様、週二〜三回学校で授業しています。休みの日の中、天候によりサイクリングを楽しんでいます。

○杉村親一
目黒区柿の木坂二―四―十四
ご無沙汰お赦し下さい。小生今春、蒲田保専を退職、目下自分の時間を楽しんでいます。インシュリンで糖尿病をこま

ご無沙汰お赦し下さい。小生今春、蒲田保専を退職、目下自分の時間を楽しんでいます。インシュリンで糖尿病をこま